

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

26号
2020
11.6

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/



園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので、
絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



～世界の紅葉ライトアップ! 2020～

11/14(土)～11/29(日) 夕暮れとともに光が灯ります! 午後8時閉園(入園は7時半まで)

※ 同時に観覧温室夜間開室! 午後5時～午後8時開室(入室は7時半まで)

第54回 菊花展

- 期間: 10月20日(火)～11月15日(日)
- 場所: 大芝生地特設展示場
- 内容: 大菊、小菊(懸崖作り、盆栽作り)等、約300鉢を展示(販売あり)

美しい鴨川を子どもたちに残そう展

- 期間: 11月3日(火・祝)～11月11日(水)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: 鴨川美化啓発活動の半世紀に亘る様々な活動と明治や大正時代の貴重な記録写真などをパネルで紹介

アートボトル講習会(8) 募集中!!

11/12(木) 経験者の部 10:00～12:00
初心者の部 13:30～15:30

- ★山野草アートボトル同好会が作り方を指導 ★定員:各10名
- ★参加費:3,000円(別途、入園料が必要)
- ★事前申込:往復ハガキに講習会名、受講希望の回・部、住所、氏名、電話番号を明記 ★切:11/10(火)★会場:植物園会館2階多目的室

第29回 寒蘭展 (販売あり)

- 期間: 11月13日(金)～11月15日(日)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: カンラン約100点及びび席飾り5席を展示

秋は植物園

- 期間: 11月21日(土)～11月22日(日)
- 場所: 大芝生地
- 内容: 自然の素材を使った手作り体験会や、私の好きな木パネル展示など

「副園長のほっこりガイド」

11月29日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!
植物園会館前集合: 午後2時スタート!

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! ‘おすすめ樹木めぐり’ ‘おすすめエリアガイド’などをスマホで確認し、植物観察!

紅葉散策ツアー

- 日程: 11月21日(土)、11月22日(日)
- 集合: 植物園会館前(両日とも①10:00、②13:00)
- 内容: モミジやフウ、イチョウなどの紅葉を職員が案内(30分程度)

第8回 草花アートボトル展

- 期間: 11月21日(土)～11月29日(日)
- 場所: 植物園会館1階展示室
- 内容: 様々な花を特殊乾燥させ自然の雰囲気を意識して作った作品を展示

第29回 ポインセチア展

- 期間: 12月1日(火)～12月25日(金)
- 場所: 観覧温室(特別展示室・ジャングル室)
- 内容: ポインセチア約100品種、700鉢を展示。特別展示室で「クリスマス飾り」を展示



第52回 野外彫刻展

- 期間: 12月5日(土)～12月20日(日)
- 場所: 園内各所
- 内容: 京都彫刻家協会員の作品約40点を展示

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合: 午後1時スタート!



「植物園ガイド」が植物案内!

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 電話075-701-0141で



※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
- 大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
- ※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



今週の「探して！」
2020. 11. 6
26号

⑫ キンシヤチ(金鯨)

サボテン科。メキシコ中部原産。当園の個体は1930(昭和5)年11月にメキシコのバルメー博士が宮内庁に献上された一つで、本種が日本に最初に導入された固体である。1990(平成2)年に京都大学農学部附属農場より寄贈された。

⑪ シロヨメナ

キク科。本州から九州、台湾などに分布。山林の縁に生える野菊の一種で、別名をヤマシロギクともいう。よく似たノコンギクが、山地や人里の日当たりのよいところに多く自生するのに対し、シロヨメナはほぼ山地に限られ、明るい日陰に多い。

⑩ チャボディア・スプレンドス

アカネ科。メキシコ原産。赤紫色のがく片から黄色の花弁が下向きに突出。花は四角形の筒状で先端は4裂して反り返り、黄色から赤味を帯びた橙黄色に変化する。1972年に発見された比較的新しい種類。当園で2013年に国内初開花。

⑨ フウセントウワタ

キョウチクトウ科。南アフリカ原産。花は小さく乳白色で下向きに咲く。その後に見える果実は袋果(たいか)と呼ばれ、一見するとトゲがついたサボテンのようにも見える。その特異な草姿から、切花として生け花の花材等に用いられる。

① 十月桜(ジュウガツザクラ)

バラ科。秋から冬の間にぽつりぽつりと咲き続け、極寒の季節を経て春にまた開花するタイプの品種。野生種のマメザクラとエドヒガンの種間雑種が由来と考えられる十月桜は、江戸時代から栽培される八重咲き品種。

② コスモス

キク科。メキシコに自生。野生種は日が短くなると開花する短日植物で、日本では夜の時間が長くなる秋に見頃を迎えることから、古くから「秋桜」の別名でも呼ばれている。ギリシャ語で「飾り、美しい」を表す kosmos が名前の由来。

③ バラ「ピース」

バラ科。園芸品種。フランスの育種家フランス・メイアンが交配・選抜したことが誕生の始まり。母の名である「マダム・アントワーン・メイアン」の別名もある。第二次世界大戦末期の1945年に平和への願いを込めて「ピース」と命名された。

④ ロウヤガキ

カキノキ科。中国原産。カキノキの仲間で、秋から冬にかけてがく片が細長く羽根つきの羽根に似たような実を結ぶ。この実は小さく渋いため食用とはならないが、独特の形状と色味が面白く、観賞用として盆栽などによく利用される。

⑤ レオノティス・レオナルス

シソ科。南アフリカ原産。属名のレオノティスは「ライオンの耳」という意味で、花の先の形が由来となっており、英名もライオンズ・イヤーズという。また同様の理由でライオンズ・テール(ライオンの尾)とも呼ばれる。

⑥ サンシュユ

ミズキ科。中国、朝鮮半島が原産。春には葉が出る前に黄色い小花が咲き、木全体が黄金色に輝く。秋にはグミのような艶やかで赤い実が成る。この様子からハルコガネバナ(春黄金花)、アキサンゴ(秋珊瑚)などの別名でも呼ばれる。

⑧ アフリカン・マリーゴールド

キク科。原種はメキシコを中心とした中央アメリカに分布。メキシコからスペインに導入され、アフリカ北部に広がったことが名前の由来。フレンチ系に比べ花色の変化は少ないが、大輪でボリュームのある花を楽しむことができる。

⑦ ヒメショウジョウヤシ

ヤシ科。ボルネオ原産。葉柄や葉軸が鮮明な緋赤色でヤシの中では最も美しい種類の一つである。美しい株立ち性で、株元でよく分けつする。茎は細く竹状で高さ5m、径8cm程度。葉が落ちると滑らかで光沢のある緑色の茎肌が現れる。

